



2009～2010年度  
国際ロータリーのテーマ

## ロータリーの未来はあなたの手に

事務局・例会場 鹿児島東急イン  
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F  
TEL 090-5295-2736  
FAX 099-251-5290  
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会 長 松田 泉  
会長エレクト 前田 正幸  
幹 事 井川 良仁  
編 集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 14-24

### 第598回例会 平成21年12月24日(木) プログラム「家族会」

前回第597回例会[12月17日(木)]の報告 於: 東急イン

#### 【会長アドレス】会長 松田 泉

本日は今年最後の通常例会ですので、少し早いですが今年度半期分の活動を振り返ってみたいと思います。7月に就任しました際にまず思ったのは、RIの一員としてそのルールを遵守しながらその中でサザンウインドはどうあるべきか、自主性を持ったクラブであるためにはどのようにすれば良いのか、ということでした。そのためにまず核となるアッセンブリーの作成が第一だと思い、なるべく早期の発行を目指しました。気付いていない方もいらっしゃるかとは思いますが、細則の変更以外にもかなり変更しております。また、理事会はクラブの最高決議機関ですので、すべての委員会の活動は理事会承認を受けてからという細則にも記載されている当然のことを守るようにしました。これは、各委員会の活動もその責任は理事会にあるということにもなります。次に理事会が何をしているかがわかり、また関心を持って頂くために理事会報告を全員に送付することにしました。一人でも多くの会員の方が例会を始めとするクラブ内外の行事に参加して下さいを目指しておりますが、まだまだできておりません。いろいろ抱負はありましたが、地区や分区などのしなければならぬことに追われ、したいこと、した方が良いことがなかなかできないことに不甲斐なさを感じております。しかし、どのようなことにもそこに楽しさを見出し、また楽しいと感じることのできるクラブにしたいと常に思っています。今までの活動も各年度の方々が一生涯懸命されてきたことと思います。が13年目を迎え、一つ一つ検証し直し、良いこと、また良いと信じることを実行していきたいと思っています。あと半年、ご協力を宜しくお願い致します。

#### 【会務報告】幹事 井川良仁

- ① 鹿児島西南RC創立 30周年記念式典がH22年2/24(水) 17:00～サンロイヤルホテルにて行われます。出席希望者は幹事まで。
- ② IM(インターシティミーティング)が今年度は奄美にてH22年2/27(土)行われます。テーマは「地域密着型職業奉仕活動について」です。本会議 15:00～17:00 奄美図書館にて、懇親会 18:00～20:00 奄美サンプラザホテルにて、ゴルフが2/28(日) 8:00～奄美カントリークラブにて。出欠表にご記入をお願いします。登録料と懇親会費の自己負担はありません。
- ③ 入会3年未満の方のオリエンテーションを例会後行いますので、対象者はお残り下さい。

#### 【ゲスト】(卓話者)

鹿児島大学農学部学部長 岩元 泉様

#### 【ニコニコBOX】

##### ◆西孝一君

・本日の卓話をして頂く同級生の岩元君(教授)に感謝のニコニコです。サザンウインドロータリーに入会して欲しいです。

・15日には押井・右田・本木・西の為に激励会を催して頂き、感謝のニコニコです。カルテットで頑張ります。

##### ◆右田省二君・本木順也君

先日は激励会を催していただき、誠に有難うございました。感謝の気持ちでニコニコします。

##### ◆小山田吉治君

鹿児島を元気に！楽しく！かごしまゲッジョイを創刊しました。お持ち帰り下さい。

《ニコニコBOX累計額 ¥160,333-》

#### H21年12月31日(木) クラブ定款に基づき休会

《次回(第599回)例会のお知らせ》

日 時: H22年1月7日(木) 12:30～13:30

場 所: サンロイヤルホテル2F太陽の間

プログラム: 市内RC新春合同例会

## 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】外部卓話 鹿児島大学農学部学部長  
岩元 泉様

「日本の農産物市場と発展途上国」

食糧需給率は、日本の食生活の変化により昔は80%だったが今40%になった。家庭以外での調理をしたものを摂る(外食)と調理済みを購入する(中食 いわゆる弁当・惣菜)を分類すると、1974年は24.8%から1990年は41.2%まで上がり4割が外食・中食で占めてきた。1990年以降外食は頭打ちになり中食(弁当)は伸びてきた。それは日本の農産物市場に大きな影響を及ぼしている。業務用の需要が増えてくる事によって海外からの食材を調達するようになり、海外で日本人向けに開発し調理済み輸入が拡大してきた。業務用の需要は普通の家庭の需要と違って、大量に同じ様なものを揃えないといけない必要があるし品質基準が厳しい。その結果として食品輸入が増大している。88年日米間に牛肉・オレンジの自由化が始まると急速に輸入が増え、野菜なども技術革新で冷蔵庫・冷凍車・貯蔵庫などで比較的長期安全に食品を保存出来る事になり増えてきた。以前は北米からの輸入が多かったが、近年東アジア特に中国からの輸入が多くなった。

1993年より22、3回ベトナムを訪問しているが、近年日本との農林水産物の貿易が盛んになっている。特にエビ・イカなどの水産物の輸出が伸びているが、最近コーヒーが有名になり農産物も輸出が増えてき



た。また2002年の中国で起こった冷凍ホウレンソウ残留農薬事件により急速に伸びている。それは、日本の企業が安全性を重視するようになり、中国から台湾・アメリカ・ベトナム等に変った事になる。

中国の残留農薬事件以来、ベトナムの冷凍野菜の品質管理をどうしているのか調査中です。原料調達の方法は、直営農業と契約農業の二つになります。直営農業は、国の政府から土地を借りて労働者を雇い会社の社員が管理して経営しているので品質安全性が保たれている。契約農業は、100ほどの個別農家との契約を結び、契約方法は前もって価格を決めて全量を買収する方法をとっている。管理方法として農薬のテストは収穫の3日前にチェック、工場に運ぶ直前にチェック、加工した後にチェックをしている。缶詰・冷凍用のベビーコーンの長さ・太さの選別や残留農薬の基準に満たない野菜などは日本の企業は買わない、その事により残った農産物は国内の地域市場に出回る事になり社会的公害になっている。品質管理点では中国の方が優れているようで、今後日本の消費者の信頼を回復した時には、ベトナムの農産物輸入の拡大は難しくなるではと思っている。

日本の食生活の変化が、食品の需要の変化をもたらし、それが輸入拡大をもたらしている。日本の要求に応えるためには基準を厳しくすることが、ベトナムの生産者・消費者にもストレスをもたらしていると思う。お互いにレベルアップして行けば良いのだが、今のところ途上国の方にしわ寄せが行っているようだ。

ペンリレー⑩ 会員名 荻原 功  
サザンウインドロータリークラブの皆様へ

皆様、旭交通の荻原です。この手紙を書く機会を与えて下さりました事を深く感謝申し上げます。というのも、この度、平成21年12月1日付をもって熊本支社へ転勤となりました。今月の家族会を最後に退会致すこととなり、皆様に受けた恩恵に何の感謝も申し上げず退会することを非常に心苦しく思っておりました。4年前の平成17年10月に入会致しまして以来、色々と面倒を見て頂き、又、親切にして頂いたこと深く感謝申し上げます。

鹿児島が大好きになり、仕事にも私生活においても多大な影響を頂きました。鹿児島のいいところを凝縮したような『サザンウインドロータリークラブ』を一生忘れるものではありません。

『人情良し！食べ物良し！焼酎良し！』これ以外に何の望みがありましようか！ご縁あってお付き合いを始めさせて頂きましたが、宜しかったら鹿児島と熊本、離れはしましたが、どうか一生のお付き合いをお願い致します。旭交通における私の後任が、決まりましたら必ずサザンに入会させます。私も熊本ロータリーに入会し、少しでも皆様方とのご縁を大切にさせて頂きます。

最後に手前味噌ではありますが、旭交通という素晴らしい会社に勤務させて頂いたからこそ皆様方との良きご縁に恵まれたのだと思います。これからも私同様、旭交通を可愛がって頂ければ、幸いに存じます。

末筆ではありますが、皆様のご多幸を記念申し上げます。寒さ厳しき折、くれぐれもお体ご自愛下さいませ。

出席報告	会員数	出席	出席率%
第597回12月17日(木)	53	35	66.04
第595回12月3日(木)訂正	54	47	87.04

